



杉田エース<7635>がMBO、株式非公開化へ



建材商社の杉田エースは、新設住宅着工戸数の減少や原材料の高騰などを背景に、基幹システムの刷新やAI（人工知能）などへの積極的な投資を進めるうえで短期的な業績や株価動向にとらわれない経営体制が必要と判断した。具体的にはERP（基幹業務システム）の導入や配送センターの新設、新規事業の本格的展開などを進めるという。副社長の杉田力介氏が設立したUMK（東京都墨田区）が、MBO（経営陣による買収）の一環としてTOB（株式公開買い付け）を実施し、株式を非公開化する。

買付価格は1株当たり1710円で、公表前営業日の終値1218円に対して40.39%のプレミアムとなる。買付代金は約57億5600万円。

買付予定数は336万6069株で、下限は168万3035株（所有割合31.37%）。買付期間は2025年11月13日～12月25日までの30営業日。決済の開始日は2026年1月8日。公開買付代理人は東海東京証券で、復代理人はマネックス証券。

杉田エースはTOBに賛同を表明し、株主に応募を推奨している。創業家とその資産管理会社が保有する約37%の株式についてはTOBに応募しない。最終的にUMKと創業家、資産管理会社が杉田エースの株式を保有する構図とする。

杉田エースは1948年に杉田金属として設立。1984年に現社名に変更した。2000年に株式を店頭登録（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。